

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	木地区一体型特定土地区画整理国費対象市負担事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課				
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備		主管課長	石野 升吾				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	木地区土地区画整理事業	意図	道路、公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクスプレス沿線整備の促進を図り、良好な市街地を形成する。
事業内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の整備が進み、つくばエクスプレスの開業、幹線道路の供用が開始された。 ・事業計画変更により事業期間が平成26年度末から平成30年度末まで延伸された。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		進捗率			89.30	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	幹線道路の整備により地域間の道路ネットワークが整備され、新たな公共交通機関の参入や周辺道路の渋滞解消、生活道路への車両進入抑制が図れている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度末事業費ベース進捗率90% ・都市計画道路の供用が開始され、道路の整備が進み、保留地販売及び換地の使用収益が開始され宅地の整備が進み住宅建築が行われている。 ・地区の中心を縦断する県道の整備が進んだ。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	125,797,990	226,557,520	178,718,720				
事業費(b)(円)	125,356,850	226,121,000	178,245,000				
うち一般財源	10,756,850	75,221,000	5,445,000				
職員給与費(c)(円)	441,140	436,520	473,720				
人役・職員(人)	0.06	0.06	0.06				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.02	0.02	0.02				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	施行者及び関係機関と連携し、事業計画に沿った事業の推進を図る。	取組の課題	平成30年度末までに工事を完成させるため、権利者の協力が得られていない箇所があり、事業進捗の妨げとなっている権利者や地区周辺住民との合意形成が必要。
今年度(H27)に実施した取組	土地区画整理事業の計画的な事業の促進のために、施行者と協力し関係権利者や関係機関との協議を行った。	今後の改善計画	引続き施行者及び関係機関と連携し、事業の推進を図っていく。